

教育事務所だより

令和6年7月9日発行

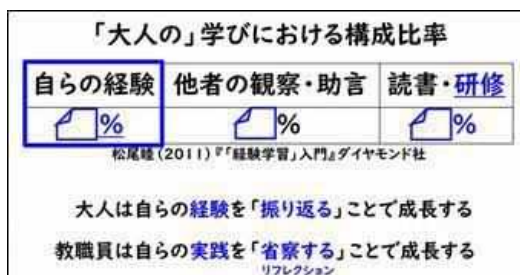
「教師の学び」のヒントとして

所長 徳永 勝俊

1学期も残すところ約1週間となりました。5～6月には教育事務所の学校訪問をさせていただき、ありがとうございました。十分な人員配置ができない中で、校長先生の学校経営方針のもとで組織的に運営されていることを聞き、先生方のご尽力に本当に頭が下がる思いです。

松江教育事務所は、今年度、現場の教員確保に向けた取組の一つである「指導主事の配置合理化」を行いました。その体制を整えながら、改めて市教委と県教委をつなぐ役目であることを確認し、未来の教育を見据えた「今こそつなぐ・つながる教育事務所」をスローガンにして、それぞれの業務に取り組んでいます。所報につきましても、今後の学校経営の一助となるよう、情報を精選してお伝えできればと考えています。

さて、令和の日本型学校教育の構築に向け、児童生徒の学びのみならず、「新たな教師の学びの姿」の実現が求められています。私も、昨年度の中央研修に参加させてもらい、自分の研修観が変わるきっかけを与えてもらいました。その一つを紹介します。先日の校長先生対象の学校経営実践研修の挨拶と一部内容が重なりますが、校長先生のみならず学校園に携わる皆様に、これからの「教師の学び」のヒントにさせていただけたら幸いです。



研修前のオリエンテーションで、「大人の学びは何から影響を受けますか」と尋ねられました。左のスライドの□に、どんな数字が入るでしょう？

正解は左から70、20、10。これから研修が始まるころでしたので、「読書や研修」の影響の低さと「自らの経験」による学びの大きさにビックリしたところです。もちろん研修に興味がないのではなく、「ぜひ研修で学んだことを自分の学びにするために、実践してください」とのことでした。私はそれまで、先輩からの助言や研修を受けて満足していることが多かったの

ですが、今は一步踏み込んで、小さなことでも実践してみようと心がけています。いざ実践してみると、頭で考えたようにはうまくいかず、でも自ら体感しないと、深く学べないと感じているところです。

またそのオリエンテーションでは、実践したことを「省察する（リフレクション）」大切さを教えてもらい、よさを実感しました。省察とは辞書で「自分のことを省みて考えめぐらすこと」と示されていますが、私は「反省する」とは違う、目的（課題解決）に向かう内容やプロセスについて未来に向かって検討する行為のように捉えています。学校現場においてはICTの活用から生徒指導上の問題まで、答えのない課題に対して日々の教育活動を行いながら立ち止まることなく解決していかなければならないのが現実です。だからこそ、時に立ち止まり、自らの実践を個人や集団で省察していき、よい方向に向かうことができた経験を積み重ねてみてはいかがでしょうか。

紹介した内容は新しいことではなく、すでに取り組んでおられる方もいらっしゃるでしょう。例えば「授業実践における省察」については、以前島根県教育センターの研究でも紹介されています。夏休みを迎えるにあたり、それぞれの立場で1学期の実践を省察し、2学期以降の教育活動につなげていただきたいと思います。

松江教育事務所は次頁から紹介するように、ワンフロアに総務、学校教育、社会教育があり、総合的に学校園を支援していきたいという思いです。お気軽に相談いただきますよう、今後ともよろしくお願ひします。

参考：令和4年12月19日中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について、松尾睦（2011）職場が生きる人が育つ『経験学習』入門（ダイヤモンド社）

学校教育スタッフの令和6年度の取組方針 ～ともに歩む～

学校教育スタッフ企画幹 植田 道

今年度、県の指導主事体制の見直しを受け、松江教育事務所学校教育スタッフ3名、松江市派遣3名、安来市派遣3名、計9名の指導主事で、島根県教育センター、教育庁各課等の指導主事と連携して学校や先生方を支えます。「今こそ『つなぐ・つながる』教育事務所」を合言葉に、昨年度から引き続き、次の3つを基本姿勢として、日々の業務に取り組んでいます。

1. 傾聴の姿勢を基本としたあたたか（暖か、温か）な学校支援（寄り添う）
2. 本庁・市教委と連携した迅速かつ的確な学校等への対応（つながる）
3. 新しい情報の収集、教材研究、研修を通じた自己研鑽（学び続ける）

様々な課題に直面している教育現場。その最前線にある学校や先生方のニーズにできるだけお応えできるよう、共に考え、歩んでいく姿勢を大切にします。“協働”のもと、たくさんの感動を分かち合い、希望を語り合うことができるように、「子どもたちのため」「学校のため」の総合的・継続的な支援を行っていきます。

体制の見直しにより、教育事務所の役割を改めて考えています。学校や先生方との“つながり”の大切さを再確認し、困り感の軽減や先生方の自信の高まりにつなげます。フットワーク軽く、あたたかい学校教育スタッフを目指し、この1年間、指導主事一同で取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



安来市派遣（生徒指導） 午後指導専任主事 金西幹 特別支援教育支援専任教員 松江市派遣（生徒指導）
竹田政博 桐山直子 植田道 秦美沙江 名目良美穂
安来市派遣（特別支援教育） 安来市派遣（学力育成） 松江市派遣（学力育成） 松江市派遣（特別支援教育）
吾郷綾子 大櫃真由美 丹羽隆 梅田英樹

社会教育スタッフ ～「未来に対して主体性をもって生きる人」の育成～

社会教育スタッフ調整監 橋津健一

1 学校・家庭・地域が連携・協働する魅力ある教育環境・仕組みづくり

児童生徒にこれからの時代を生き抜く力を育成するために、多様な学びのニーズに対応する機会の充実や学びの支援が大切であり、そのための学校、家庭、地域が連携・協働した魅力ある教育環境の整備が求められます。その「魅力ある」教育環境・仕組みづくりを進めるために以下のことに重点を置き、市、学校区の取組を支援します。

- 学校、家庭、地域が目標を共有し、子どもを取り巻く課題解決のための協議、対話する場の充実
- 学校・家庭・地域をつなぐコーディネーター等の人材発掘、育成
- 親学プログラム等参加型学習を活用した大人の学び、交流の場の充実
- 週末や放課後等の子どもの居場所づくりと体験活動の充実

2 地域づくりを担う人づくり

地域住民が児童生徒の教育に関わることで、住民の生きがいや学習意欲を喚起し、生涯学習の充実につながるとともに、自らの地域について考える機会となり、地域づくりに関わる意識の高まりも期待できると考えます。学びをとおして人づくり、地域づくりを進める有効なプロセスとして、本県では【社会教育流儀】として「集って・楽しんで・学んで・動いて・変えていく」を大切にしています。この学びの過程を繰り返すことにより、自己変容を促し、学びの成果を生かすことによる「学びの循環」や、学ぶことにより新たな学びを生む「学びの連鎖」を生み出します。このことにより、自己実現を図ったり、地域課題に向き合ったりする意識を持った「未来に対して主体性を持った人」を育成していくことを目指しています。このような学びをデザインし、コーディネートする社会教育関係者（公民館及び交流センター職員、PTA関係者等）を全力でサポートします。



松江市派遣 川神拓人 人権教育推進員 野田勝巳
安来市派遣 高尾康弘 調整監 橋津健一 松江市派遣 林和博

令和6年度 松江教育事務所 所掌分掌

所長 新 徳永 勝俊 ☎ (0852)32-5765	調整監 村本 有史 ☎ (0852)32-5766	教職員の人事や服務に 関すること
---	---------------------------------	---------------------

【総務課の主な業務】 ☎(0852)32-5777

課長 落部 加苗 ○所内及び課内事務の総括 ○小・中学校の旅費の配分	主幹 椋木 範子 ○会計年度任用職員の任用，報酬支給 ○旅費(松三G，湖南G，鹿島・島根G，安二G)
主任 松坂 秀治 ○旅費総括(松二G，湖北G，玉湯・宍道G，安三G)	主任主事 新 景山 育美 ○教職員の給与関係 ○学校事務職員 ○旅費(松四G，湖東・八雲G，安一G，広瀬G)
主事 澁野 珠紀 ○臨時的任用教職員の給与関係 ○旅費(松一G，本庄・美保関・八束G，東出雲G，伯太G)	会計年度任用職員 岩谷 優紀 ○旅費(松一G，湖南G，湖北G，玉湯・宍道G，広瀬G)
会計年度任用職員 室 愛華 ○旅費(松四G，湖東・八雲G，鹿島・島根G，安二G，安三G，伯太G)	会計年度任用職員 岡 千琴 ○旅費(松二G，松三G，本庄・美保関・八束G，東出雲G，安一G)

【学校教育スタッフの主な業務】 ☎(0852)32-5772

指導主事(兼)企画幹 植田 道 ○学校教育全般 ○各種研究大会(助言者依頼等) ○経験年数に応じた研修	指導主事 (生徒指導専任主事) 桐山 直子 ○生徒指導
指導主事 (特別支援教育支援専任教員) 秦 美沙江 ☎32-5791 ○特別支援教育に係る教員の相談	
派遣指導主事【松江市派遣】 丹羽 隆 (学力育成) 名目良 美穂 (生徒指導) 梅田 英樹 (特別支援)	派遣指導主事【安来市派遣】 新 大櫃 真由美 (学力育成) 新 竹田 政博 (生徒指導) 吾郷 綾子 (特別支援)
○学校訪問指導業務 ○派遣先市町村教育委員会における業務	

【社会教育スタッフの主な業務】 ☎(0852)32-5775

社教主事(兼)調整監 新 橋津 健一 ○社会教育及び生涯学習の振興に 関すること	人権教育推進員 野田 勝巳 ○人権教育の取組推進に 関すること
派遣社会教育主事【松江市派遣】 林 和博 新 川神 拓人	派遣社会教育主事【安来市派遣】 高尾 康弘 ○派遣先市教育委員会における 社会教育行政及び生涯学習振興 行政に関する業務

令和6年度 松江教育事務所管内 研究指定校等 (R6.6.1現在)

◆研究指定校事業 ※ ○国：国指定 ○県：県指定	指定校・園等
㊦令和の日本型学校体育授業構築支援事業 (R6) ～テーマ3：多様な武道等指導の充実及び指導体制の強化～	安来三中, 広瀬中
㊦リーディングDXスクール事業 (R6)	玉湯学園
㊦しまねの学力育成プロジェクト事業 (R4～R6)	松江市 (乃木小, 湖南中) 安来市 (荒島小, 安来三中)
㊦小・中・高等学校の連続性と系統性をもった英語指導力向上研修 (R6)	広瀬小, 広瀬中, 安来高
㊦生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業 (R5～R6)	赤屋小
㊦人権教育実践モデル園事業 (R6)	安来幼

◆研究発表等	開催期日・指定校等
全日本中学校道徳教育研究大会 (神奈川大会)	11/21 (木)・22 (金) (課題別分科会) 湖南中
全国へき地教育研究大会 (岡山大会)	10/10 (木)・11 (金) (課題別分科会) 井尻小
島根県教育研究大会 (安来大会) 安来市教育研究大会 (広瀬ブロック大会)	10/25 (金) 広瀬中, 広瀬小, 山佐小, 比田小, 布部小 (課題別分科会) 竹矢小
中国地区小学校特別活動研究大会 (島根県大会) 島根県特別活動研究大会 (仁多大会)	11/8 (金) (課題別分科会) 八雲中
島根県小中学校栄養教諭研究大会 (浜田大会)	8/8 (木) (課題別分科会) 赤江小, 安来一中
島根県中学校保健体育研究大会	11/28 (木) 美保関中
松江市教育研究大会 (Aブロック研究大会)	11/6 (水) 松江一中校区各幼稚園・幼保園・小・中学校

しまねの学力育成プロジェクト事業について

「しまねの学力育成推進プラン」を実現するため、「授業の質の充実」「家庭学習の充実」「地域に関わる学習の充実」を柱に、小・中学校等において学力育成が図られるよう取り組む教育委員会を支援する事業です。県内5市(松江, 安来, 出雲, 雲南, 大田)が取り組んでおられます。

過去2年間の取組について、「しまねの教育情報 Web EIOS」に掲載されています。松江教育事務所管内両市の研究校の取組はもちろん、他市の取組にもアンテナを張り、自校の教育活動の参考にされるとよいと思います。

今年度は、実施期間の最終年度。各市が成果報告会等を計画されているところです。実施自治体、研究校の成果を共有し、島根の子どもたちの成長につながっていくことを期待しています。

ご相談ください！

特別支援教育支援専任教員

小中学校の通常の学級や特別支援学級における“困っていること”の相談に、**迅速・ていねい**に応じます。特別支援教育について、先生方と学校を応援するのが「特別支援教育支援専任教員」です。

特別な支援を要する児童生徒の楽しく充実した学校生活のために、先生方と一緒に考えていきたいと思っています。まずはお電話から。

松江教育事務所 特別支援教育支援専任教員
専用電話 0852-32-5791 (秦 (はだ))

教員サポーター

学級経営, 学習指導, 生徒指導, 保護者や地域, 同僚のこと…業務や人間関係といった学校の日常の悩みについて、ご相談ください。

秘密厳守で対応します。匿名相談可。相談者の承諾があれば、関係機関からの支援や助言も受けられます。一人で抱え込まず、気軽にご相談ください。

教職員のための専門の相談員 (教員サポーター)

専用電話 090-5323-9212 (市町村立学校)

080-9298-2747 (県立学校)

メール kyouinsupport@pref.shimane.lg.jp